

情報セキュリティ対策

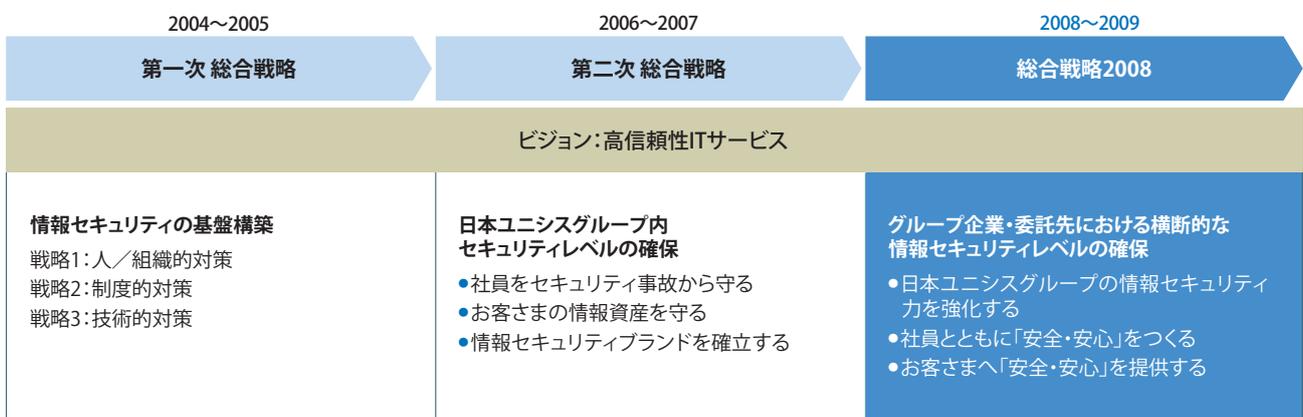
お客さまの経営情報や情報システムに携わる立場として、お客さまへ常に「安全・安心」を提供していける企業であり続けるよう、セキュリティレベルの着実な向上を図っています。

情報セキュリティ総合戦略の推進

日本ユニシスグループでは1990年に「情報セキュリティ委員会」を立ち上げて以来、長年情報セキュリティ対策に取り組んできました。近年では2004年に「第一次総合戦略」を、2006年には「第二次総合戦略」を策定し、中長期的な視点からグループ会社一体となった情報セキュリティ対策を推進してきました。

こうした取り組みを通じてセキュリティレベルの着実な向上が図られ、2008年度は、ISO27001 (ISMS) 認証を、新たな2社を含む22社が取得するとともに、プライバシーマークについても計12社が取得しました。2009年度以降も、さらなる“情報セキュリティ力”強化に向けて、引き続き「総合戦略2008」に基づいた活動を推進していきます。

情報セキュリティ総合戦略の推移



マネジメントの統合化

2008年度の取り組みとしては、「総合戦略2008」を推進する体制として、委員会、推進チーム会議に加え、グループ運営会議を設置しました。また、情報セキュリティ (ISMS) と個人情報保護 (PMS) の内部監査統合により、セキュリティ推進活動の効率化と現場部門の負荷軽減に努めました。実地監査については全部門に拡大しています。

一方、日本ユニシスグループ各社および協力企業様との間における、情報セキュリティの強固なバリューチェーン構築に向けて、各社セキュリティレベルの実地調査の実施や、必要に応じた実地点検にも着手しました。

グループ企業における認証取得状況

項目	2007年度末	2008年度末
ISMS	20社	22社
プライバシーマーク	7社	12社

セキュリティ文化の定着・拡大に向けて

セキュリティ文化のさらなる定着をめざし、PC起動時のイントラネット画面での啓発や、情報セキュリティの役員・組織長向け研修、部門担当者研修、新入社員研修、全社員を対象としたeラーニング研修に加え、協力企業様に対しても計画的な研修 (P.36参照) を実施しています。



イントラネット画面による啓発



また、「SASTIK®サービス (P.21参照)」などを利用し、全社員が社外においてもセキュリティの確保された環境でイントラネットにアクセスできるようにするなど、セキュリティの観点から“攻めの情報活用”を推進しています。